

ハンセン病ドキュメンタリー映画

# NAGASHIMA

## ～“かくり”の証言～

波ひとつありません。

浮かんでいると本土まで運んでくれそうな海なのですが、  
凪いでいても「隔ての海」です。

### 宮崎 賢 監督作品

撮影・編集・構成：宮崎 賢 脚本：曾根 英二

ナレーター：東馬 紀江 音楽：須江 麻友・今井 勉

挿入歌：《愛生園挽歌》 編曲・歌唱・演奏：沢 知恵 録音・ミックス：上野 洋

音効：安田 晃永 MA：塚村 俊孝 ドローン撮影：門野 治雄

編集協力：RSKプロビジョン・河原 大

企画制作：「NAGASHIMA ～“かくり”の証言～」製作実行委員会

2021年 110分





洋画家 清志 初男(スペイン芸術勲章受章・2003年)  
1946年 長島愛生園に入所

ハンセン病ドキュメンタリー映画  
**NAGASHIMA**  
～“かくり”の証言～

差別、偏見に打ちのめされても“強く尊く”生きてきた入所者の人生を知って欲しい。  
療養所としての歴史を閉じる日も近い。しかし、すべてが忘れ去られることではない。  
映画を通じて人権侵害の記憶を次の世代につなげていきたい。

■岡山県瀬戸内市の長島には、長島愛生園と邑久光明園の二つの国立ハンセン病療養所がある。両園の入所者は合わせて180人あまり、平均年齢は88歳。隔離の島で証言を聴く時間も残り少なくなった。■映画は2014年以降の8年間に長島の入所者ら、およそ30人の証言を映像で記録。隔離の歴史を掘り起こした。■長島愛生園の開拓時代や国の患者撲滅政策「無らい県運動」で強制隔離された収容過程、園に反抗した患者を監禁した「監房」、さらに厳しい懲罰施設「草津送り」と言われた群馬県栗生楽泉園の「重監房」での獄死。戦前、戦中、戦後の強制労働、栄養失調などで1,077人が無念の死。入所者が振り返る「死者を焼く煙。煙になってしか故郷に帰れなかった」。優性思想「結婚したら強制的に断種(不妊手術)をさせられた。人間扱いではなかった」と屈辱の体験を語った。■映画が伝えるのは暗い記憶ばかりではない。戦後、特効薬プロミンによって病気が治る時代になった喜び。「人間回復」と呼ばれた邑久長島大橋の開通で「島流し」から解放された。橋で社会と繋がり、園内が明るくなった。ハンセン病患者の全国で唯一の高校「新良田教室」の開校。病と闘いながら、学友と学ぶ喜びがあった。1950年代、文芸のルネッサンスが花開いた。文学、音楽、絵画などの活動が社会の窓口となり、励みになった。■ハンセン病国賠訴訟で熊本地裁は強制隔離を定めた「らい予防法」は違憲と断罪。原告は「いままで苦勞してきた事が報われた」と涙した。■子どもの頃、強制収容された80代の夫妻が故郷の小学校に招かれ児童と一緒に給食を食べ、歌で歓迎され「うれしい うれしい」と言葉を詰まらせた。89歳の入所者の誕生日には、広島県の高校生たちが訪れケーキで祝った。人権侵害の歴史を学び、若い世代がしっかりと受け止めている。

“いまでも背中に平仮名で「かくり」と貼られているよう” “長島しか知りません” “療養所なのに監房が” “獄死も”

無名のハンセン病の元患者たちが封印してきた『強制隔離』の体験を初めて語った。

木の入園番号札を見せながら。“家族に迷惑が掛かるから”と誰にも話さなかった元患者たち。

40年間、通い続けた宮崎賢監督にだからこそ語った人間の叫び。

“もう時間がありません、なにがあったか、知っていて欲しい!”と。

断種手術、墮胎児の保存、解剖、草津の重監房送り、無らい県運動、6畳間に二組夫婦の生活。村八分の葬儀、故郷への墓参、などなど。

温かな目線のドキュメンタリーカメラマンとして知られ、ハンセン病隔離報道の第一人者の宮崎監督自らがインタビュー、構成、撮影、編集。

その問いかけは私たちがざわつかさずには置かない。

瀬戸内海に浮かぶ岡山県の長島愛生園には納骨堂がある。小さな骨壺に眠る3700柱の思い。

偏見、差別のなかで人生のほとんどを隔絶の島に暮らし生涯を閉じた人たち。

2020年で、日本最初の国立ハンセン病療養所・長島愛生園が置かれてから90年になった。

赤裸々な元患者たちの証言もやがて聞けなくなる日が来る。

推薦

ジャーナリスト  
**曾根 英二**  
(菊池寛賞受賞)



ホームページ

<https://nagashima.mognet.jp>

チラシ・ホームページ制作：モグネット

令和5年

**12月7日(木)**

入場無料  
定員120名

開場 18:10 開演 18:30

上映後に宮崎監督の講演があります。

福井県生活学習館(ユウ・アイふくい)  
3階 映像ホール(福井県福井市下六条町14-1)

◆ 申込方法 ◆

右のQRコードから、お申込みください。  
読み取りが難しい方は、下記の問い合せ先までご連絡ください。



◆ お問い合わせ ◆

福井県健康福祉部健康医療局保健予防課  
☎ 0776-20-0350